



若い人の欄

思い出の四季

西真帆 (十一の二)

卒業して七月を過ぎる今、国... 思い出の四季... 誰かが持つであろう学校生活の楽...

「無罪」を読んで

二 藤美佐子 (十一の五)

最近私はある先輩が貸して下さ... 「無罪」を読んだ。米田における...

中国の思い出

大胡しつ子 (六の五)

日中文化使節として松山バレエ... 中国の思い出... 団の一員であった私は昨年の三月...

燕京の秋

有賀真知子 (九の六)

たそがれが静かに訪れて、赤い... 燕京の秋... 夕陽が肌を染めるころ、街角に...



その場所を良くする、ハジさわ... 北京の舞踊学校の校長先生も女性...

人柄さまざま

大野美彌子 (四の五)

職歴柄、いろいろと人に合う機... 人柄さまざま... いろいろといつても、私のやつ...

らくがき

桐生郁子 (四の一)

二月八日... らくがき... 目が覚める、昨晩の興奮がまだ...

空まわりの世界

高橋佳子 (十一の一)

最近ある宗教の入門を勧められ... 空まわりの世界... その程度を測るものさしもあり得...

追悼文

福本桂子 (七の五)

早苗ちゃん早苗ちゃんと呼びな... 追悼文... らわして、小学校のときから一緒...

亡き友 嘉久子ちゃんへ

中森美根子 (三の六)

何と悲しい事でしょう。あんなに... 亡き友 嘉久子ちゃんへ... 元気だった貴女が、何れの日で...



実によく明瞭な努力家で、貴女のい... 宛に笑顔あり、暖い抱擁力と...



お便りをしたら読んでくれる貴... 女がまたいるような気がして、手...



だが、一方では夏休みの地区会... として、黒髪どのの多い中で立派...



